

第5学年 年間指導計画(図工 全50時間)

学習の目標	
<p>○造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。</p> <p>○材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。</p> <p>○作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にできるようにする。</p>	
学習の方法	
<p>○材料や場所などの特徴をもとに工夫して、楽しい造形活動をするようにする。</p> <p>○見たこと、感じたこと、想像したこと、伝えたいことを絵や立体に表現したり、工作に表したりするようにする。</p> <p>○作品などを鑑賞し、それらのよさや美しさに親しむようにする。</p>	
学習の評価	
<p>○4つの観点にそって、どれだけ達成できたかによって評価する。</p> <p>1. 関心・意欲・態度 2. 発想や構想の能力 3. 創造的な技能 4. 鑑賞の能力</p> <p>「よい子のあゆみ」では1～4について総合的に評価の結果をお知らせする。</p> <p>評価の方法は作品だけでなく、製作中の様子や鑑賞後の発表やメモなどで行う。</p>	
単元名	主な学習内容
風が見えたら	場所の持ちようからつくりたいものを考え、場所に合った材料を使って活動する。
ねん土の板から	板の形にしたねん土を変形させることから想ぞうを広げて、空想の生き物をつくる。
感じたことを伝えたい	身の回りを改めて見つめ、感じたことが伝わるようにくふうして絵に表す。
板を切りぬいて／みんなでミノたおし	電動糸のこぎりを使って、楽しく遊んだりかざったりするものをつくる。
板を切りぬいて／ゆらゆらモビール	電動糸のこぎりを使って、楽しく遊んだりかざったりするものをつくる。
板を切りぬいて／ゆかいなパズル	電動糸のこぎりを使って、楽しく遊んだりかざったりするものをつくる。
え？名前で絵	名前の文字をもとに発想を広げ、形や色をくふうして絵に表す。
お気に入り研究所	毎日の暮らしの中で使用するもののよさに気づく。
気持ちを表す形や色	自分の気持ちを形や色で表すことを楽しみ、こう果的に表すよう試みる。
タワーをたてよう	アルミはり金の曲げ方や立たせ方をくふうして、美しいタワーをつくる。
楽しく美しく伝えよう／プレートで表す	伝えたいことの内容に合わせ、表現方法をくふうして掲示物をつくる。
楽しく美しく伝えよう／ポスターで表す	伝えたいことの内容に合わせ、表現方法をくふうして掲示物をつくる。
土から始めよう	土の感じよや色から発想を広げて絵に表す。
ぬのから生まれた形	やわらかなぬののあつかい方をくふうして、つくりたい形を立体に表す。
アレっ？コレ、ナニ？／身近なものを大きく	場所との関係を考えながら、意外性のあるものをつくる。
アレっ？コレ、ナニ？／本物そっくりに	場所との関係を考えながら、意外性のあるものをつくる。
アニメーションをつくらう／パラパラアニメーション	動きが連続して見える仕組みを使って、楽しい作品をつくる。
アニメーションをつくらう／ゾートロープでアニメーション	動きが連続して見える仕組みを使って、楽しい作品をつくる。
アニメーションをつくらう／デジタルカメラでアニメーション	動きが連続して見える仕組みを使って、楽しい作品をつくる。
アニメーションをつくらう／コンピュータでアニメーション	動きが連続して見える仕組みを使って、楽しい作品をつくる。
線を集めて	細長い材料を組み合わせ、美しいと感じられる形をくふうしてつくる。
想ぞうのつばさを広げて	自分が感じたふん囲気が伝わるように、心をひかれた物語の場面を絵に表す。
不思議な絵	不思議に見える表現があることに気がつき、そのおもしろさを味わう。
使って楽しい焼き物を	焼き物をつくる方法について知り、目的に合わせた焼き物づくりをする。
刷り重ねて表そう／一ぱん多色木はんで	ほったり刷ったりしながら、線や色の調子や重なりをたしかめて、多色木はんに表す。
刷り重ねて表そう／ほり進み木はんで	ほったり刷ったりしながら、線や色の調子や重なりをたしかめて、多色木はんに表す。
アート・レポーターになって	作品をよく見て表された内容を読み取り、自分の考えを文章にまとめる。